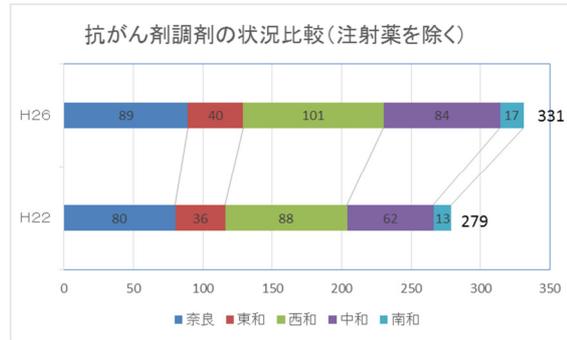
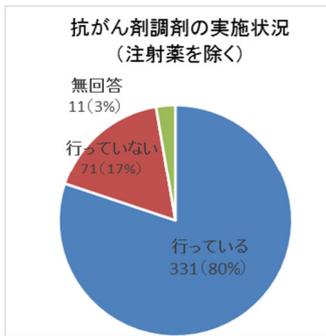
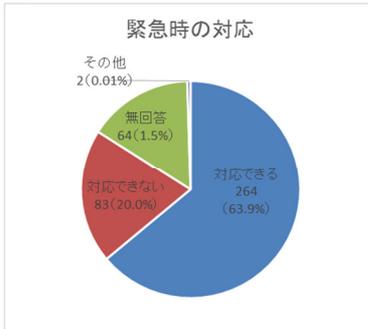


調査結果【薬局】概要（平成27年3月11日回答時点）

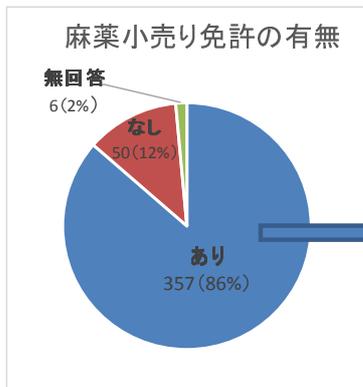
回答 413 カ所 / 対象 509 カ所（回答率 81.1%）



抗がん剤調剤については、331カ所（80%）で実施していた。これは前回調査（平成22年実施）より52カ所増加していた。医療圏別では奈良医療圏で9カ所、東和医療圏で4カ所、西和医療圏で13カ所、中和医療圏で22カ所、南和医療圏で4カ所の増加となった。



緊急時の対応については、「対応できる」が264カ所（63.9%）、「対応できない」が83カ所（20.0%）となった。また前回調査より緊急時の対応ができる薬局が86カ所の増加となった。



【麻薬在庫の有無】

	薬局数
あり	219
なし	135
無回答	3

麻薬小売り免許の有無については、「あり」が357カ所（86%）、「なし」50カ所（12%）となった。

また、麻薬小売り免許のある薬局のうち麻薬在庫のある薬局は219カ所となった。

【がん治療や緩和ケアの患者の服薬指導で困ったこと】（抜粋）

- ・体調が日替り変化し、服用状況も変化著しく体調変化についていけない。
- ・本人の思うように痛みが消失しない。
- ・麻薬イコール怖いというイメージが患者さんから離れず、なかなか服用しつづかない等の相談に適切なアドバイスができない。
- ・処方せんだけの情報のため、病状、経過情報、今後の治療方針等が不明のため、服薬指導時の声かけに困る。（本人なのか？告知されてるのか？家族の方なのか？施設の方なのか？麻薬は初めてなのか？抗がん剤治療はされてるのか？など）